

正親町公兼を以て、奥羽追討總督と爲し、木梨恒準（長門藩士）渡邊清（大村藩士）を參謀となし、海路より兵を平潟に出すことになつた。十一日官軍は江戸品川灣を發し、十六日平潟に至り、兵を部署して諸口を陥し、且つ參謀は相馬季胤・安藤信勇、内藤政養、本多忠紀の各老臣を平潟に召致したが、既に奥羽諸藩聯盟して會津を援け、王師に抗せんとしてゐた所であつたから、海道四藩の老臣は、遂に詔たらなかつた。

是より先、列藩は薩長出の參謀大山、世良氏等の暴情を恵み、將さに驕衡して西南の大軍に衝たることゝした。此

の國葬に對し奉りて、其の弔詞捧呈を議決して之に上京した。又昭和四年七月十八日、親王の御三子小松輝久が本郷尊蹟に就て、予が之の内役の光榮を辱ふし、加之を於く爲めに是の勞の勞の謝狀を賜ふた。又昭和四年七月十八日、親王の御三子小松輝久が本郷尊蹟に就て、予が之の内役の光榮を辱ふし、加之を於く爲めに是の勞の勞の謝狀を賜ふた。

郷土史抄
故濟先生の遺影を懐ぶ二
(龍川家の史料採訪)
　　鮫川漁史
此の際の詳細は、彼の座右重要日誌、戊辰日乗等にあるが、長文につき此には略する。が、輪王寺宮の御名に記すが、輪王寺宮の御後名は、北白川宮能久親王と稱し、明治二十八年十月二十日、臺灣征伐の際に薨去遊一宿して後ち會津に移行するに及び、依然奥羽の形勢が多はし給ふ陸軍少將勳位功二

の時、泉藩に於ては恭順と主

變し、爲に泉の如きも復び動れる官軍をエウ擊するべく

施して佐幕に傾き、平鷦に至起した。

產婦人科院長木村寅次郎

外科醫學博士內木宗八

藥局 梅 菊 館 二
平町 新川町 九一

病室完備
木本
電話一六四五

石炭

コーエス
豆炭
水野石炭店
電話二九九番

洋服
は
高島屋
平町二丁目
電話三八七
注文並に既製品

八日

秋物 入荷

高
高尾屋洋服店

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 一 二 三 本
用命は 一 二 三

安田系統の帝國海上

清 美 簡 易
サンマードレス

ツルヤ

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レンタルケン科

平田田時
高久病院
院長 瑪學士 高久忠

町屋紺町平
藤沼醫院
番七〇五電

好評
噴々

たる各種優秀薬

強力流經劑

(定價二圓、三圓、五圓、十圓)

治淋新劑トリヅクス

A アイヨー錠

(定價二圓、三圓、五圓)

B トーゲン

(定價二圓、六圓、二十圓)

効樂 防風中藥

硬化 痘特

特約店 (平町五十日通り) 山野邊藥

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町 電三〇七 會長 清野キヨ
平 看護婦部 會
經濟的な御手不足の御家庭輕い御病人の付添姉妹をお願致升 産婦の御家庭